2025 年 6 月 12 日
住友商事九州株式会社
取締役社長執行役員
齊田　忠勇

「ラブアース・クリーンアップ2025」海岸清掃活動　参加報告

LOVE EARTH CLEAN UP 2025

6 月 8 日（日）、「ラブアース・クリーンアップ 2025」海岸清掃活動に参加しました。

ラブアース・クリーンアップとは、1992 年 5 月に福岡市で開催された「ローマ・クラブ福岡会議 in 九州」を契機に、「地球環境と地域行動」の実践活動として、市民・企業・行政が協力し、福岡市から始まった地域環境美化活動です。九州・沖縄・山口各県にとどまらず、遠く石川県や北海道、更には韓国釜山広域市にまで活動の輪が広がっています。

住友二水会（福岡在住の住友連系 46 社がメンバー、当社は会長会社）も社会貢献活動の一環として 2004 年から本行事に参加しており、環境に対する意識の高さを反映して毎年多数の方にご参加いただいています。19 回目となる今年は 33 社から 571 名の参加となりました。

住友二水会の清掃場所である「国営 海の中道海浜公園」の海岸とクロマツの織りなす風景は、日本の白砂青松 100 選に選ばれています。昨年は雨天中止となり、今年も開催直前まで雨が心配されましたが、当日は清掃活動に丁度よい天候となり玄海灘の心地よい風が吹くなか、子ども連れや会社の仲間と熱心に清掃する姿が、海岸のあちらこちらで見受けられました。

「海洋ゴミ問題」が世界的な課題となって久しいですが、特にプラスチックゴミは自然界では分解されず、紫外線や波等によって 5mm 以下の小さなプラスチック片となってもなお「マイクロプラスチック」として拡散され海の生き物に影響を与えています。今回の清掃活動では、約 45 分間の清掃時間で住友二水会として回収袋 117 個分のゴミのほか、袋に入りきらない大きなゴミも回収されました。

ゴミの量は年々減少傾向にあるものの、海岸には未だにマイクロプラスチックをはじめとした海洋ゴミが漂着しており、今回それらを回収する活動を通じて、改めて自然分解されないゴミへの対策の重要性や、環境保全活動の意義・必要性を実感する機会となりました。

当社は引き続き、CSR活動の一環として本活動に積極的に参加してまいります。